



SASEBO WEEKLY

会長:石井 正剛 幹事:増本 一也
事務所:佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323
例会場:佐世保玉屋8階(毎週水曜日) TEL 0956-23-8181
http://www.sasebo-rc.jp/ E-mail:src@circus.ocn.ne.jp

平成 26 年 6 月 11 日

第 3,123 回例会

NO 45

【本日】会員数 74 名 (出席免除会員 22 名)・出席 48 名・免除者欠席 6 名・欠席 20 名・ビジター 0 名・出席率 64.86%

【前々回】会員数 73 名 (出席免除会員 22 名)・出席 46 名・免除者欠席 7 名・欠席 20 名・メークアップ 20 名・修正出席率 100.00%

会長挨拶

会長 石井 正剛さん

先日正月を迎えたばかりと思っておりましたが、すでに半年が過ぎようとしております。

ネズミとゾウの心拍数を例えに、時間感覚が論じられますが、心拍数はあまり変わらなくても、62歳の私と会員で一番若い35歳の河原忠徳さんや、36歳の高瀬宏滋さんでは、物理的時間は同じでも、受ける1年の長さの感覚は違ってきます。しかし時刻は間違いなく刻まれ、時間は私達に平等にあります。

東京都小金井市貫井北町4-2-1

ここに何があるか皆様ご存知でしょうか。

「独立行政法人 情報通信研究機構 電磁波計測研究所 時空標準研究室 日本標準時グループ」

長い名前ですが、ここが日本の時刻を作っているところです。時刻と言えはすぐ東経135度、明石が思い浮かびますが、明石は日本の基準地点であって、明石で作られているわけではありません。それでは時刻はどのようにして作られ、知らされているか、ご存知でしょうか。

まず世界の協定世界時があります。それをもとに、日本は9時間進めるとされております。

世界の時間も世界原子時と協定世界時があり、多少違いますがその話はさておき、協定世界時が、世界の基準になる時刻と考えて戴きます。

日本では、数台のセシウム原子時計(精度:1億年に1秒の誤差)と数台の水素メーザーにより相互に時差を測定し、この時刻差データをもとに、世界原子時計の時刻にまず合成します。

その上で、協定世界時が生成されます。

この協定世界時間を9時間進めた時刻、日本標準時を、日本に2ヵ所ある、福島県おたかどや山(電波塔250m)と福岡県のはがね山(電波塔200m)の標準電波塔(JJY)から日本全国に発信しています。

協定世界時と日本標準時との差は±10ナノ秒(1ナノ秒は10億分の1秒)と言われております。因みにわが社は、はがね山標準電波塔建設に携わると同時に、現在2ヵ所の標準電波塔の年1回の定期点検を毎年行っております。

時刻は幅広く、放送関連、陸海空の輸送関連、その他、いたるところで必要不可欠のものとして扱われております。

忙しい人程、時間を持っていると言います。時間に追われるのではなく、余裕を持って時間を過ごしたいものです。

6月10日「時の記念日」に因み時刻・時間のお話を致しましたが、自衛隊においても時刻、時間は重要なファクターではないでしょうか。

本日は、海上自衛隊佐世保地方総監部 池田徳宏総監 当クラブの名誉会員に、本年度の卓話のとりをお願い致しました。大変楽しみに致しております。

名誉会員バッジ授与式



例会記録

- ロータリーソング「R-O-T-A-R-Y」
- 卓話者
名誉会員 海上自衛隊佐世保地方総監
池田 徳宏 様
- ゲスト
副官
池原 朋之 様

幹事報告

幹事 増本 一也さん

1. ガバナーエレクト 宮崎 清彰さん
地区クラブ奉仕統括委員長 佐藤 豊さん
地区会員増強委員長 貞方 正一さん
2014-15年度クラブ奉仕・会員増強セミナー
開催について

日時／2014年7月13日(日) 12:00 受付開始
12:30 開会・点鐘 16:45 閉会・点鐘

会場／武雄センチュリーホテル

出席者／次年度クラブ会長及び次年度クラブ
奉仕担当役員及び次年度クラブ会員
増強委員長

2. RI第2740地区ガバナー事務所より
ホームページ更新のお知らせ

3. ガバナーエレクト 宮崎 清彰さん
次年度地区幹事 森 栄一郎さん
次年度公式訪問時のタイムスケジュールにつ
いて（お知らせとご協力をお願い）
佐世保RC クラブ協議会 7月9日(水)
公式訪問 7月16日(水)

4. 佐世保市長 朝長 則男 様
「空き缶回収キャンペーン」参加へのお礼

委員会報告

- ロータリー財団委員会 委員長 松尾 文隆さん
石井正剛会長より、(財)ロータリー
一米山記念奨学会へ特別寄付をい
ただきました。



山縣義道会員・玉野哲雄会員
より、ロータリー財団の年次プログラム基金へ
の寄付をいただきました。

- ^{カア}官 ^{ジャン}家興氏 苦学生支援の為のお米贈呈式
(元佐世保RC国際奨学生・元米山奨学留学生)

主催／佐世保RC・長崎国際大学RAC

後援／^{カア}官 ^{ジャン}家興

日時／2014年6月15日(日) 午前9時30分 現地集
場所／東彼杵郡東彼杵町瀬戸郷 官氏所有の農場

朗遊会より

朗遊会幹事 坂本 敏さん

今度の14日(土)役員記念コンペ
を佐世保カントリークラブにて
開催いたします。

午前11時12分スタートです。
今年度最後の朗遊会ですの
で参加をお願いします。



雑誌の時間

雑誌委員会 委員長 平尾 幸一さん

ロータリーの友6月号、わがまち
そしてロータリーより
「『おかいこ』の記憶、とわに
富岡製糸場が世界遺産になった」



平成26年4月、ユネスコの諮問機関が「富岡
製糸場と絹産業遺産群」を世界文化遺産に登録
するように勧告し、今月中に決定されること
になります。

幕末の1859年開国以降、日本からの一番の輸
出品は生糸でしたが、輸出の急増で需要が高ま
った結果、質の悪い生糸が大量に作られる粗製
乱造の問題が発生し、日本の生糸の価値が下落
しました。明治政府は、維新後の近代化を進め
る資金を集める方法として生糸の輸出が最も効
果的と判断し、生糸の質を高め、大量生産体制
を作るために、1870年(明治3年)6月、廃藩置
県よりも早く、洋式の製糸場設立をフランス人の
ポール・フリユナに委託しました。

富岡が選ばれた理由は、養蚕が盛んであった
こと、繭を煮るための水が豊富であったこと、
動力源の石炭が近くに産出し、地元も協力的で
外国人指導者を受け入れたからでした。

製糸場の建設に尽力したのは、渋沢栄一の義
兄の尾高惇忠で、新橋—^{あつた}横浜間の鉄道が開通し

た1872年、富岡製糸場も完成しました。操糸場本棟は、長さ140m、幅・高さ12m、そして、繭の保管庫2棟は、長さ104m、高さ15mという巨大なものです。当時は、工女が集まらなかったため、尾高惇忠は当時13歳の愛娘を工女第1号として採用したそうです。

官営の工場として誕生した富岡製糸場は、1893年三井に払い下げられ、1902年原合名会社へ譲渡、1938年(株)富岡製糸所、1939年片倉製糸紡績株式会社(現・片倉工業株式会社)に合併され、1987年3月まで操業を続けました。

片倉工業(本社・東京)は、操業停止後も、売らない、貸さない、壊さないの三原則のもと、年間7千万円もの維持管理費を負担していました。2003年夏、当時の群馬県知事(小寺弘之さん)が「富岡製糸場を世界遺産に」と発案し、2005年、片倉工業は、土地を富岡市へ売却し、建物などの重要文化財を市に寄付しました。富岡中央RCのメンバーの今井清二郎さんは、1995年から2006年まで富岡市長として尽力し、片倉工業からの寄付と同時に一般公開を開始し、進行中の市街地の区画整理を中止し、補償金を当てにしていた人たちから随分恨まれたということでした。

明治、大正、昭和、平成の先達が強い信念のもと、140年以上もの間、維持してきたからこそ、世界文化遺産として認められた訳であり、私の心に響くものがありました。

囲碁・将棋同好会より

囲碁・将棋同好会幹事 平尾 幸一さん

本日、午後4時より役員交代式記念、囲碁・将棋大会を開催致します。参加される10名の方は、セントラルホテル1階会場へお集まりください。

慶 祝

親睦活動委員会 河原 忠徳さん

○今月の誕生祝い

- 有蘭 良太さん (4日)
- 池田 豊さん (8日)
- 円田 三郎さん (9日)
- 岡 英樹さん (22日)



ニコニコボックス

親睦活動委員会 坂元 崇さん

石井 正剛 会長、増本 一也 幹事
 森 信正さん、池田 真秀さん
 池田 豊さん、古賀 巖さん
 佐々木秀也さん、富永 雅弘さん
 梅村 良輔さん、河原 忠徳さん
 有蘭 良太さん、中川 知之さん
 下田 弥吉さん、武井 洋一さん
 芹野 隆英さん、田中丸善弥さん

海上自衛隊 佐世保地方総監 池田徳宏様の卓話に期待して

芹野 隆英さん

本日が本年度最後の卓話になります。ロータリーメンバー皆様のおかげをもちまして、何とか1年間つとめる事ができました。心よりお礼申し上げます。プログラム委員会一同

中村 徳裕さん

本日の長崎新聞に、池本さんのご高配により生まれて初めて発表発売した「音楽CD(NORIMYUJIKK)」を記事にいただきました。中村徳裕の自作自演曲が5曲入っています。皆様のあたたかいご支援をよろしく申し上げます。

有蘭 良太さん、池田 豊さん
 円田 三郎さん、岡 英樹さん

誕生祝いありがとうございます。

ニコニコボックス 本日合計 23,000 円
 累計 1,019,000 円

卓 話

『防衛省・自衛隊60年の変遷(役割の変化)』

海上自衛隊地方總監部

佐世保地方總監 池田 徳宏 様



1. 自己紹介

佐世保地方總監 海将 池田徳宏

昭和33年7月26日生(静岡市出身)

昭和56年 防衛大学校卒(25期・航空工学)

昭和57年 海上自衛隊幹部候補生学校卒(81期)

平成2年 米国留学(イージスプログラマー課程)

4年 プログラム業務隊

7年 「せとぎり」副長

8年 海幕装備体系課(イージス艦担当)

9年 統幕5室(弾道ミサイル防衛研究室)

11年 「やまゆき」艦長

14年 海幕防衛課(防衛班長)

15年 統幕5室(BMD検討班長)

15年 第5護衛隊司令

16年 海幕指揮通信課長

18年 第1護衛隊群司令

19年 統幕指揮通信システム部長

21年 大湊地方總監部幕僚長

22年 海幕防衛部長

24年 護衛艦隊司令官

26年 佐世保地方總監

2. 防衛省・自衛隊60年の変遷(役割の変化)

新たな防衛計画の大綱(新大綱25.12.17)

○位置付け

国家安全保障戦略⇒防衛計画の大綱⇒中期防衛整備計画⇒年度予算

○防衛の基本方針

・積極的平和主義・総合的な防衛体制の構築・専守防衛・文民統制・非核三原則等・核兵器の脅威への対応

○防衛力の役割

- ・各種事態における実効的な抑止及び対処
 - ・常統的な周辺海空域の監視、島嶼部への対応、BMD対処、宇宙空間及びサイバー空間への対応、大規模災害等への対応
- ・アジア太平洋地域の安定化及びグローバルな安全保障環境の改善
 - ・アジア太平洋地域の安定化：常統的な監視、訓練・演習の実施、二国間・多国間の防衛交流、共同訓練・演習、能力構築支援等
 - ・グローバルな安全保障環境の改善：軍備管理・軍縮、不拡散に対する取り組み、国際平和協力活動、海賊対処、能力構築支援等

○役割を果たすための3つのアプローチ

・我が国自身の努力・日米同盟の強化・安全保障協力の積極的な推進

防衛力の役割の変化

	51大綱	07大綱	16大綱	22大綱
防衛力の役割	災害救援等	より安定した安保環境構築への貢献 —PKO、国際緊急援助活動 —安保対話、防衛交流等	国際安保環境改善への主体的・積極的な取組 —国際平和協力活動の本來任務化 —安保対話・防衛交流	グローバルな安保環境の改善 —国際平和協力活動への取組 —軍備管理軍縮、能力構築支援 —テロ対策・海上交通の安全確保等
	侵略の未然防止・侵略対処 (限定小規模侵略独力対処)	大規模災害等各種の事態への対応 —大規模自然災害・テロ —周辺事態	新たな脅威・多様な事態への実効的対応 —弾道ミサイル —ゲリラ・特殊部隊等 —島嶼部侵略 —ISR、対領侵、武装工作船等 —大規模・特殊災害等	アジア太平洋地域の安保環境の一層の安定化 —防衛交流、域内協力 —能力構築支援
		我が国の防衛 —侵略の未然防止 —侵略対処	本格的侵略事態への備え (最も基盤的な部分を確保)	実効的な抑止・対処 —周辺海空域の安全確保 —島嶼部攻撃 —サイバー攻撃 —ゲリラ・特殊部隊 —弾道ミサイル —複合事態 —大規模・特殊災害等 ※本格的侵略事態への備え (不確実な将来情勢変化への必要最小限の備えを保持)
	【基盤的防衛力構想】 ・防衛上必要な各種の機能を備え、後方支援体制を含めてその組織・配置において均衡のとれた態勢を保有 ・限定的かつ小規模な侵略までの事態に有効に対処 ・災害救援等を通じて国民の民生安定に寄与	→ (基本的に踏襲) ・「限定小規模侵略独力対処」との表現は踏襲せず ・防衛力の役割として「我が国の防衛」に加え、「大規模災害等各種の事態への対応」及び「より安定した安全保障環境の構築への貢献」を追加	【多機能で弾力的な実効性のある防衛力】 (基盤的防衛力構想の有効な部分は継承) ・新たな脅威や多様な事態に実効的に対応するとともに、国際安保環境改善に主体的かつ積極的に取り組み得るもの	【動的防衛力】 (基盤的防衛力構想にはよらず) ・各種事態に対して実効的な抑止と対処を可能とし、アジア太平洋地域の安保環境の一層の安定化・グローバルな安保環境の改善のための活動を能動的に行い得るもの ・多機能で弾力的な実効性のある防衛力を発展させたもの

(今週の担当 長富 正博) (カメラ担当 佐藤 淳)

クラブ会報・広報委員会

委員長 長富 正博
副委員長 目黒 誠之

委員 大久保利博・城島 一彦
佐藤 淳